



栗駒保健センター

施工地/宮城県栗原市栗駒老々婦
内館寺後155番地
竣工年月日/平成18年7月24日
敷地面積/13,797.92㎡
構造/木造地上1階
延床面積/558.77㎡

栗駒総合支所と一体となり防災拠点を目指した木造施設

栗原市栗駒保健センターは栗駒総合支所(平成17年5月竣工)の東側に増築しました。総合支所と保健センターは当初より一体の施設として計画され、外観や内外装材は同一の仕様となっております。

大断面集成材を使用した木構造平屋建てとなっており、主に地域産の杉・から松が使われております。総合支所を含めたこの施設は災害時における防災拠点の役割を求められており、地震に強い(柔軟性)、火災に強い(準耐火構造)といった大断面集成材を使用した木造建築物の利点を生かした建物となっております。

平面図 a plan



施設利用者にやさしい空間を目指して

住民の集団検診の際には検診車が4~5台使われるといった事情から、建物東及び北面に雨の日の検診を考慮して検診車4台が入れる底を設けております。この検診車スペースには検診を受けられる方が保健指導室並びに診察室から直接出入りすることが出来ます。

他にも各部屋のつながりや管理のしやすさ等について市の担当職員の意見を取り入れながら、施設利用者への利便性を図っております。

安らぎと快適さが調和したユニバーサルデザイン

床面の段差無し、廊下などの手摺りの設置、トイレの仕様はもちろんのこと、弾性のある床材、出入り口の引き戸採用等により高度なユニバーサルデザインとなっております。躯体の断熱性能としては、外張り断熱工法や低放射複層硝子を使った高断熱サッシの採用などにより、次世代省エネルギー基準と同程度となっております。仕上材に木材を多く用い、視覚的にもやわらかさと温かみのある施設となっております。



隣接する栗駒総合支所庁舎



検診車スペース-1



検診車スペース-2



弾性のある床材と引き戸を採用した出入り口



渡り廊下側から見た保健センター